

久我山だより

平成 31年 2 月 28 日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

節 目

校 長 筒 井 鉄 也

あと一月で、新しい年度を迎え、子どもたちは、一つの節目を迎え、また一つ上の段階に上ることになります。

この「節目」の語源は、「竹の節」とされています。竹の中身は、空洞ですが、この節があることによって長くたくましく伸びていきます。この節目があるからこそ、竹は大きく成長することができます。

人間の成長も同じかもしれません。一つ一つの節目を迎え、それをしっかりと通過することで、だんだんと身も心もたくましく成長していきます。



1月末に、4年生が「2分の1成人式」を行いました。二十歳までの半分が通過するこの時、今までの成長を自覚し、これからの未来への決意を新たにするという趣旨で行われています。

4年生は、一人ひとり自らの成長をしっかりと主張することができました。その姿に涙した保護者も少なからず…。

かくいう私も…。



さて、この節目には、人を一回り大きくする力もっています。

新年を迎えた時には、何となく新鮮な気持ちとなり、「今年は、…」と決意を新たにすることも多いのではないのでしょうか。

子どもたちも、進級、進学の節目によって、気持ちを新たにし、よりよく生活をしていこうとする決意をもちます。平時はなかなか気持ちを転換することは難しいものですが、この節目の時を通して、気持ちの切り替えが自然と行うことができます。



6年生にとっては、大きな「節目」を迎えます。卒業、入学という大きな通過儀礼を原動力としてほしいと願っています。そして、この節目を有効に活用して今までの自分以上の自分を出す機会にしてくれることを期待しています。



大人の世界も、この時期、節目を迎える方がいらっしゃるのではないかと思います。異動や昇任など、緊張の中、4月を迎えたことを私も思い出します。ぜひ、この時をチャンスと思いき節目、よき転換期となることを祈念しております。



本年度も本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございました。心から御礼申し上げます。